

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成 19 年 5 月 31 日 (2007.5.31)

【公開番号】特開 2001-247513 (P2001-247513A)

【公開日】平成 13 年 9 月 11 日 (2001.9.11)

【出願番号】特願 2000-60308 (P2000-60308)

【国際特許分類】

**C 0 7 C 67/03 (2006.01)**

**B 0 1 J 31/12 (2006.01)**

**C 0 7 C 69/54 (2006.01)**

**C 0 7 D 309/30 (2006.01)**

**G 0 3 F 7/038 (2006.01)**

**C 0 7 D 307/33 (2006.01)**

**C 0 7 B 61/00 (2006.01)**

**C 0 8 F 20/18 (2006.01)**

**C 0 8 F 20/28 (2006.01)**

【F I】

C 0 7 C 67/03

B 0 1 J 31/12 X

C 0 7 C 69/54 B

C 0 7 D 309/30 D

G 0 3 F 7/038 6 0 1

C 0 7 D 307/32 Q

C 0 7 B 61/00 3 0 0

C 0 8 F 20/18

C 0 8 F 20/28

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 3 月 5 日 (2007.3.5)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 1】

原料エステルと原料アルコールとのエステル交換反応により  
レジスト用ポリマーの原料モノマーを製造する方法において、原料エステルおよび原料アルコール中の水分含有率を 200 ppm 以下に脱水した後、エステル交換反応を開始することを特徴とするレジスト用ポリマーの原料モノマーの製造方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

すなわち本発明は、原料エステルと原料アルコールとのエステル交換反応によりレジスト用ポリマーの原料モノマーを製造する方法において、原料エステルおよび原料アルコール中の水分含有率を 200 ppm 以下に脱水した後、触媒を添加してエ

エステル交換反応を開始することを特徴とするレジスト用ポリマーの原料モノマーの製造方法である。本発明は、式(1)または式(2)のレジスト用ポリマーの原料モノマーの製造に特に適している。また本発明において、触媒はスズまたはチタンを含む化合物であることが好ましい。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

本発明のレジスト用モノマーの製造方法において、エステル交換反応は前記の原料エステルおよび原料アルコールを用いて従来より知られている方法や条件で実施すればよいが、原料エステルおよび原料アルコール中の水分含有率を200ppm以下となるように脱水してからエステル交換反応を開始する必要がある。水分含有率はカールフィッシャー水分計で測定することができる。原料エステルおよび/または原料アルコールに溶媒等が含まれる場合は、これらを含めたものに対する水分含有率を200ppm以下にする。